



10月1・2日

皮膚病理診断ワークショップ
& コンセンサスセミナー 開催



札幌皮膚病理研究所にて
～皮膚付属器腫瘍の疑問・問題点を解決
する～をテーマに全国よりお集まりいた
だいた先生方により、活発な意見交換が
されました。

10月15日

第6回京滋難治性皮膚疾患研究会 講演
(ウエスティン都ホテル京都にて)



下記にご紹介し
ております



京滋難治性皮膚疾患研究会 ～これまでのあゆみ～

今回で6回目を迎えた 京滋難治性皮膚疾患研究会は、京都大学皮膚科、京都府立医科大学皮膚科、滋賀医科大学皮膚科に所長の木村鉄宣がお招きいただき、第一部では、下記のテーマのような講演を行っております。また、第二部では病理診断が困難であった症例をあげ、どのように診断を下すか、症例検討を行っております。

- 第1回 炎症性皮膚疾患の病理組織の見方・考え方 (2003.2.27)
- 第2回 皮膚腫瘍性疾患の病理組織診断 所見の取り方と診断方法 (2003.9.20)
- 第3回 臨床を見て病理を考え、病理を見て臨床を考える (2004.1.31)
～ 後天性色素細胞性母斑: Acquired melanocytic nevus、尋常性乾癬: Psoriasis vulgaris ～
- 第4回 皮膚病理の常識と非常識 (2004.10.9)
～ Pilomatricoma、Solar keratosis ～
- 第5回 臨床を見て病理を考え、病理を見て臨床を考える (2005.4.2)
～ 菌状息肉症と斑状類乾癬、その1 (菌状息肉症) ～
Mycosis fungoides vs Parapsoriasis en plaque, part 1 (Mycosis fungoides)
- 第6回 ～ 菌状息肉症と斑状類乾癬 その2 斑状類乾癬～ (2005.10.15)
Mycosis fungoides vs Parapsoriasis en plaque, part 2 Parapsoriasis en plaque
- 第7回 Melanoma or not (仮題) (2006.4.1)

～論文発表～

肛門部に発生したSyringocystadenoma papilliferumの一例
安部達也、佐藤 誠、岩重弘文、村木専一、國本正雄、沖田憲司、木村鉄宣
臨床と研究 別冊 82(4): 683-684, 2005

アポクリン分化を示したmucinous carcinoma of the skinの1例
阪本亮平、輪湖雅彦、西巻啓子、播摩奈津子、眞鍋求、安齋眞一
皮膚科の臨床 47: 685-687, 2005

内臓病変は見つけてからが勝負: アンケート特集・私が見つけた内臓病変
安齋眞一
皮膚病診療 27: 691-692, 2005

今後のスケジュール

2005, 11, 19-20

講演: IAP教育スライドセミナー
(木村鉄宣)

会場: 東京大学医学部

2005, 11, 26-27

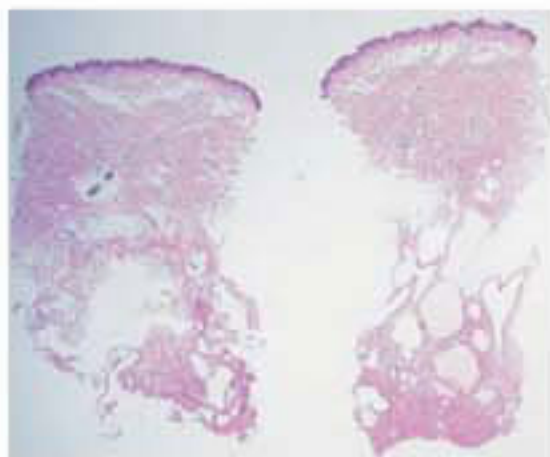
セミナー; 皮膚病理指導医養成講座
第2部 非炎症性皮膚疾患

会場: 札幌皮膚病理研究所

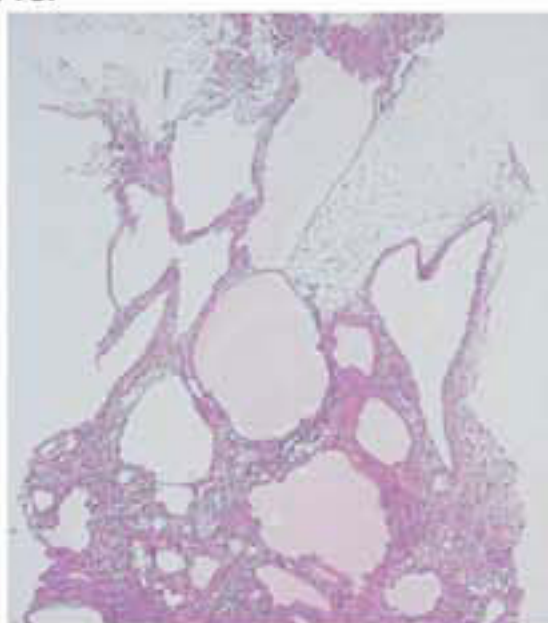
今月の症例

Lymphangioma

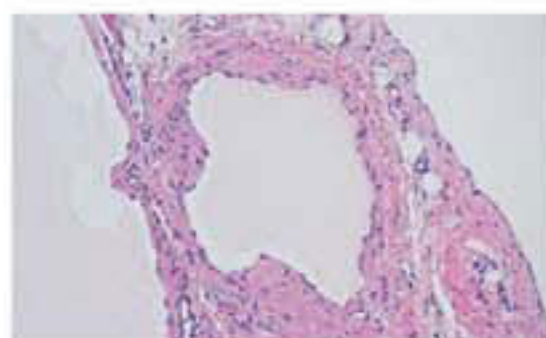
年齢不明、男性 生検部位：左頸部から腋窩
臨床診断：lympatic malformation
病理診断：Lymphangioma



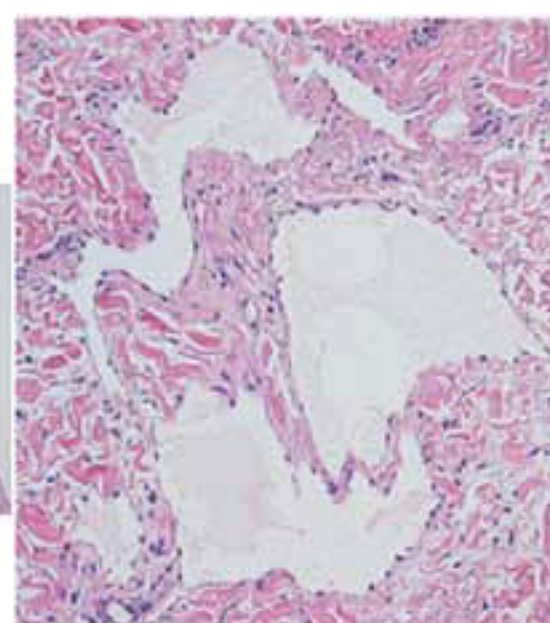
真皮から皮下脂肪組織にかけて嚢胞状の病変が形成されている。



菲薄化した壁を有する空隙が多数ある。



脈管の壁はごく薄く平滑筋を伴っていない。また空隙内に赤血球も認めない。



開催セミナーのご案内

第13回札幌皮膚病理セミナー ～世界の皮膚病理学と皮膚病理医～

講師；Geoffrey Gottlieb, M.D.

(Managing Director, Ackerman Academy of Dermatopathology/Ameripath, New York)

日時 特別講演 2005年12月 9日(金) 19時より20時半(参加費無料)
セミナー 12月10日(土) 8時より17時 (18時より懇親会)
12月11日(日) 8時より14時 早期申込割引受付締切-11/8(火)

会場 北海道大学 医学部臨床大講堂(札幌市北区北15条西7丁目)
参加費 32,000円(早期お申込割引:28,800円) 定員 100名

プログラム

- | | |
|---|--|
| 12月10日(土) | 12月11日(日) |
| 1 Compare your diagnosis with Dr.Gottlieb | 3 Great cases from Ackerman Academy of Dermatopathology |
| 2 Consultation to the expert | 4 Dr.Gottlieb's new concepts and ideas in Dermatopathology |

皮膚外科手術のための皮膚腫瘍病理学講座

後援 大阪市立大学皮膚科学教室

手術切除されることの多い良性と悪性の皮膚腫瘍の病理組織所見を中心に解説し、手術方法や切除範囲を考えるための情報を提供する

日時 2005年12月17日(土) 10時~16時 早期申込割引受付締切
会場 大阪市立大学 大講義室 定員 100名 11/16(水)

参加費 各会場 16,000円(早期申込割引参加費:14,400円)

講師 木村 鉄宣(札幌皮膚病理研究所 所長)
安齋 眞一(札幌皮膚病理研究所 副所長)

目的 皮膚外科手術に必要な皮膚腫瘍の病理組織学的特徴や発症病理そして疾患概念を理解する。
各種腫瘍の治療法の選択や手術方法を病理組織学の面から理解する

対象者 皮膚外科に従事している、あるいは皮膚外科に興味のある臨床医
(皮膚科医、形成外科医、美容外科医、整形外科医、外科医など)

方法 スライド映写および質疑応答による講義形式

プログラム

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 依頼書と標本作製 | 5 切除範囲に注意が必要な腫瘍 |
| 2 皮膚外科手術の対象となる皮膚腫瘍トップ11 | 6 全身疾患をともなうことのある皮膚腫瘍 |
| 3 悪性腫瘍と診断される可能性のある良性腫瘍 | 7 臨床症状が似ている腫瘍の臨床と病理 |
| 4 良性と診断されることのある悪性腫瘍 | |

翌12月18日(日)には、同会場にて

炎症性皮膚疾患の病理診断 基礎編(診断方法の講義と診断演習)

～炎症性皮膚疾患の病理診断手順をわかりやすく解説する～が開催されます。

参加費 16,000円(早期申込割引参加費:14,400円)

詳細についてはホームページをご覧ください

お申し込みは
ホームページ・
Email・FAXにて

札幌皮膚病理研究所

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL 011-756-4810 FAX 011-756-4842
E-mail office@sapporo-dermpath.com Website www.sapporo-dermpath.com

編集担当者；高野 敦子